

## 曾於市「皆来館」についてのQ&A

Q：他の地域の波及効果はどうですか？

A：市内・市外問わず見学等が多いですが、拠点を新しく開所するには様々な課題もありできていません。ただ、行政としても生活圏域に1ヵ所を考えており、経年計画で3ヵ所開所できるよう計画しています。

Q：皆来館の月間や週間の予定は？

A：主な定例のものとして・・・。

	開催頻度
スタッフ会議	毎月1回
ふれ愛お食事会	毎月1回
ふれ愛カフェ	毎月1回
ふれ愛子育てサロン	毎月1回
児童クラブふれ愛活動	毎月2回
手作り教室	2ヶ月に1回
おれんじカフェ	2ヶ月に1回

Q：サポーター養成講座について（昼？夜？平日？）

A：サポーターの養成講座は、平日の昼と夜に開催しました。  
勤務時間については、6時間程度です。

Q：皆来館の活動費は？

A：皆来館は、平成27～29年度の3年事業で運営を曾於市社会福祉協議会に委託しています。人件費や報償費、活動費などを予算化しています。その他として手づくりの小物などを販売し、自主財源としています。

Q：皆来館の利用は無料？食事会や教室の費用は？

A：皆来館の利用は、基本的には無料です。

しかし、ふれ愛お食事会は300円・ふれ愛カフェやおれんじカフェは100円を徴収しています。

Q：皆来館の名前は誰がつけた？

広さは？ 行政の支援は？

A：皆来館の名前は、地域住民の方を対象に募集しました。最終的に、実行委員会のメンバーで決定し、オープンの式典の際に発表しました。

広さについては、旧駐在所を改修しましたが、元々が小さい施設だったため20人規模くらいの広さです。

県の3年事業として開所しましたので、改修費も運営費も行政支援となっていますが、平成30年度からは自主運営となります。

Q：皆来館はどのような流れ・きっかけでできたのか

A：駐在所あとの利用を地域で利用したいとの意見があったことや以前から通学時の見守りをされるなど地域活動が活発であったこと、県道や国道の近くではあるものの課題も多いことなどがあり、校区社会福祉協議会に提案し会議や打合せを幾度も重ね、視察研修なども実施し始まりました。